

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.70



9月定例議会報告 8/24▶9/17

9月定例議会が、8月24日(月)から9月17日(木)の25日間にわたって行われました。

今回、執行部から提出された議案は令和元年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算のほか、監査委員や教育委員会委員の選任、市有財産の減額貸付(旧中村東小学校の活用に関するもの)など計19件で、いずれも原案通り可決されました。

また、議員による質疑・一般質問は、8月31日(月)に行われ、6名が登壇し、執行部との論戦を展開しました。



今回は、旧庁舎で行われた最後の議会でした。

今回の質疑・一般質問は、コロナ対策の一環として、質問者の人数を各会派で調整したため、中村は登壇しませんでした。

令和元年度 決算審査特別委員会

中村は、9月15日(火)に行われた『令和元年度決算審査特別委員会』で、以下の項目について質疑を行いました。

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 社会福祉総務費について | 6. 教育振興費について |
| 2. 保育所費について | 7. 小学校費(原材料費)について |
| 3. とちぎ WORKWORK 移住・就職促進事業費について | 8. 学校図書館専任司書配置費について |
| 4. 新規就農者育成確保対策費について | 9. 体育施設費について |
| 5. 真岡市観光協会補助金について | |

賛成討論 また、定例議会の最終日である9月17日(木)に、中村は令和元年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算について、会派『もおか新時代』を代表して、賛成の立場から討論を行いました。

この討論の中で中村は、各会計の収納率が向上したのに加えて、これまで以上に効率的な財政運営が図られたことを評価した一方、移住・定住促進策や地域ブランド力の向上、市職員の人材育成など『未来に向けての投資』に関する部分のさらなる充実化を要望しました。



一口メモ この時、私が行った討論が、旧庁舎の議場での議員による最後の登壇・発言ということになりました。私自身『18年間育ててもらった』という思い入れの強い議場ですので、大変感慨深いものがありました。

来年度の予算編成に向けて 建議要望を市長に提出

9月定例議会の最終日である9月17日(木)、中村が代表を務める会派『もおか新時代』は、来年度の予算編成に対する建議要望を、石坂市長に提出しました。

今回の建議要望には、新型コロナウイルス感染症対策を含め、合計で39項目の施策を盛り込みました。

『もおか新時代』が提出した建議要望の内容については、中面に掲載しましたのでご覧ください。



真岡市のホームページについて

現在、真岡市のホームページで

『新型コロナウイルス感染症』に

関する各分野の情報をひとまとめにして

お知らせしています。



情報は随時更新されますので、こまめにチェックすることをおすすめします。

「見逃した!」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、『中村かずひこ通信』を発行して来ましたが、169号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は

2月7日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

特集

市役所新庁舎がついにオープン!

9月23日

真岡市の市庁舎は、老朽化や耐震性の問題、狭隘化による市民サービスの低下などの課題が長年にわたって指摘されてきました。そうした中、市では東日本大震災直後の平成23年9月から、新庁舎建設の議論が本格的にスタート。約9年の期間を経て、今年9月23日(水)に新庁舎がオープンしました。



9月13日に行われた新庁舎竣工記念式典より

これまでの経緯

平成23年9月～	行政内部の『庁舎建設検討委員会』において基本構想について話し合われる(計12回開催)
26年1月	基本構想を発表
6月～	市民40名が参加した『庁舎建設検討市民会議』において基本計画について話し合われる(計5回開催)
27年3月	基本計画を策定
28年5月～	市民40名が参加した『新庁舎建設市民会議』において基本設計について話し合われる(計5回開催)
29年3月	基本設計が完成
30年3月	実施設計が完成
10月	新庁舎建設工事安全祈願祭・起工式
令和2年9月	新庁舎竣工記念式典

新庁舎の概要



新庁舎の外観デザインは、縦糸と横糸を紡ぐ真岡木綿をイメージしています。

5F	市議会議場 議会事務局
4F	教育長室 学校教育課 生涯学習課 文化課 商工観光課 農政課 農業委員会事務局
3F	市長室 副市長室 秘書室 総合政策課 総務課 財政課 情報政策課 プロジェクト推進室 監査委員事務局 選挙管理委員会
2F	市民生活課 環境課 消費生活センター 建設課 都市計画課 都市整備課 産業団地整備室 水道課 下水道課 市民プラザ(青空ステーション) FMもおか
1F	税務課 納税課 会計課 市民課 国保年金課 健康増進課 社会福祉課 いきいき高齢課 こども家庭課 保育課 地域包括支援センター 子育て世代包括支援センター

◎3階と4階には、市民にも貸し出す会議室があります。

今後の予定

令和2年10月～12月	新庁舎北口・南口整備工事
2年10月～3年3月	北側旧庁舎(教育委員会棟など)解体・仮設駐車場整備工事
3年4月～4年3月	旧本庁舎解体・駐車場整備工事

建設費用

総額 約76億6,000万円
(建設工事、外構工事、現庁舎解体工事として)

内訳	◆合併推進債 68億9,400万円	◆庁舎建設基金 7億6,600万円	◆一般財源 0円
	そのうち50%(約34.4億円)が普通交付税で措置	総額では約45億円あり、残った基金は推進債の返済などに充当	ただし、将来的には推進債から建設基金を差し引いた額が支出見込み



※「庁舎建設基金」よりも「合併推進債」をフル活用した方が、国による普通交付税措置の増額(19億円程度)が見込めるため、このようなお金の使い方をしています。

もおか新時代 建議要望書

【総務部門】

- 公共交通網の更なる強化
 - いちごバスの運行エリア拡大
 - 宇都宮～芳賀そして真岡へのLRT延長要望
- 協働のまちづくりに向けた専門部署の設置
- もおか鬼怒公園開発株式会社の経営改善(特に温泉部門)
- 電気自動車の普及による環境対策
 - 公用車の更なる増車
 - 電気ステーションの整備
- 廃校利用の更なる推進
 - 旧東沼小・旧中村南小における優先交渉権者の早期決定
 - 優先交渉権者に対して早期開設を促す為の制度確立
- 市有地・遊休地の現状開示(市民に対する見える化)
- シティプロモーションの積極的推進
- U・I・Jターンの促進に向けたPR活動の強化
- もおかフィルムコミッションの活用
- ロケ地発信による観光客の誘致
- 二宮尊徳翁を題材としたNHK大河ドラマの誘致
- 公共施設の公衆無線LAN設置の推進
- 公共施設へのサーマルカメラの設置(新庁舎・二宮コミュニティセンター・市民会館等)
- 公共施設建設における環境対策の整備(新庁舎周辺整備事業・学校給食センター等)
- 真岡鐵道の経営改善
 - 観光振興(イベントの強化、在来線の活用等)
 - 関東鉄道常総線・首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス等との連携強化
 - DMVの調査・研究

【市民生活部門】

- 災害図上訓練の普及促進
- 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、避難所の見直し(避難所の増設、エアコンの増設)
- 防災ラジオの全世帯普及
- 市営墓地における無縁墓地や共同墓地の設置
- 新火葬場の早期建設

【教育部門】

- 教育分野の課題に向けた「教育研究所」の設置
- コミュニティ・スクールの制度導入
- 市独自の奨学金制度の充実化
 - 給付型奨学金の拡充
 - 市内及び周辺地域の学校におけるPRの強化
 - 大学院生までの対象拡充

【健康福祉部門】

- 障がい者を対象としたグループホーム等生活拠点整備
- 真岡市障害児者相談支援センターへの支援強化とPR(パンフレット・チラシの作成、看板製作と職員体制の充実)
- 高齢者の生きがい対策
 - シニアカー・電動カートへの補助金支援
 - ブレーキアシストシステムの補助金創設
 - 生きがいづくりの為、高齢者の積極的な労働力活用
- 乳幼児及び児童虐待の早期発見と早期対応の強化
- 学童保育の利用者に対する経済的支援
- 介護従事者の人材育成と処遇改善
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - 保護者が感染した際の子ども達への対応
 - 介護者が感染した際の障がい者・高齢者への対応

【産業部門】

- 起業家等の育成支援
 - 活動拠点整備
 - クラウドソーシングの普及促進
- 市の特産・もおかブランド商品の開発(月一朝市、軽トラ朝市、コンテスト)
- 中心市街地でのいちご直売所の設置(例:久保記念観光文化交流館等)
- 観光拠点のIT化の推進(QRコードの設置)
- 鳥獣被害対策(猟友会支援)

【建設部門】

- 市道・河川・サイクリングロードの除草及び街路樹の計画管理
- 空き家の幅広い目的での活用検討
- 芳賀庁舎東側の側溝の整備(増水対策)

がんばりました!

大学生インターン奮戦記

中村は、8～9月の2ヶ月間にわたってNPO法人ドットジェイピーによる『インターンシップ事業』に参加した大学生達を受け入れました。

彼らは、議会の傍聴や各種の勉強会、行政職員へのヒアリングなどの活動を通じて、自分達の暮らしと政治・行政のつながりについて学びました。



活動の記録

8月

- 3日 県内議員有志との勉強会
- 6日 会派『もおか新時代』勉強会(公共交通について)
- 9日 真岡落語研究会の活動に参加
- 17日 会派『もおか新時代』勉強会(9月定例議会の議案調査)
- 23日 ドットジェイピー「中間報告会」
- 24日 会派『もおか新時代』勉強会(令和元年度の決算について)
- 28日 真岡市職員へのヒアリング①

9月

- 3日 民生文教常任委員会を傍聴
真岡市職員へのヒアリング②
- 7日 産業建設常任委員会を傍聴
- 10日 ケアマネージャーへのヒアリング
- 13日 未来国会栃木大会
- 16日 真岡市職員へのヒアリング③
- 17日 高根沢町『ひよこの家』を訪問
- 21日 他議員事務所とオンライン交流会
- 26日 真岡市内視察
- 27日 最終報告会

※このほかに『未来国会』の準備のため、12日間活動を行いました。



《市議会を傍聴》

一般質問だけでなく、各常任委員会での議論も傍聴しました。



《会派『もおか新時代』の勉強会に参加》

9月定例議会の議案調査や公共交通のあり方などについて、会派所属議員と議論を行いました。



《政策コンテスト『未来国会』に向けて》

『どこに住んでいても誇りを持って暮らせる国』というビジョンを掲げて、お盆の期間中も勉強会。



《真岡市内を視察》

コラボーレもおかや真岡木綿会館などを巡りながら、地元の魅力を再認識しました。

参加した学生達



高松 将太さん
白鷗大学 経営学部 2年

地方創生に関わりたと思う私にとって、今回の時間はかけがえのないものとなりました。



岩崎 朱里さん
白鷗大学 経営学部 2年

まちづくりに携わっている方々と交流でき、自分の視野を広げることができました。

私も地元をさらに盛り上げられる活動をしていきたいです。



鈴木 美有さん
白鷗大学 法学部 2年

様々な活動をさせて頂き、自分にとって大変有意義な時間を過ごすことができました。

今回の活動で得たことを将来に活かしていきたいと思います。



海老原宏樹さん
白鷗大学 法学部 1年

中村議員のもとで活動させて頂き、政治に関する知識はもちろん、真岡市の一住民であるということに「誇り」を持てるようになりました。



私の政治活動費

この1年間(令和元年5月1日～令和2年4月30日)にかかった私の政治活動費について皆様にご報告いたします。

※前号にてご報告する予定でしたが、紙面の都合上、今回の掲載となりました。

項目	金額	備考
印刷広告費	1,307,037円	中村かずひこ通信、名刺等
ホームページ更新費	127,400円	
書籍・資料購入費	8,812円	
研修参加費	49,500円	全国地方議員サミット等
交通費	51,630円	個人で参加した研修の交通費
食糧費	0円	
通信費	24,801円	郵送費
文具費	1,641円	封筒、ノート
家屋費	300,000円	事務所家賃
光熱水費	50,248円	水道料、電気料
その他	6,318円	

※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載いたしました。

※なお、過去の政治活動費については「中村かずひこ通信」の1、5、9、13、17、21、25、29、33、37、41、45、49、53、57、61、65の各号をご参照下さい。

総額 1,927,387 円



前号に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連の主な支援策をお知らせします。(令和2年10月31日現在)

個人・世帯向けの支援策情報

“休業”や“失業”で家計が維持できない

緊急小口資金貸付(無利子)
最大20万円

総合支援資金貸付(無利子)
最大20万円×3ヶ月分

休業支援金・給付金
休業前の賃金の8割(日額上額11,000円)

真岡市
社会福祉協議会
☎0285-82-8844

[対象者] 中小企業主の指示による休業で手当のない労働者
[対象期間] R2.4.1~R2.12.31
[対象期間] R3.3.31まで
[問い合わせ] 厚生労働省コールセンター ☎0120-221-276

“離職等”で住宅を失った失うかも

住居確保給付金
家賃相当額×3ヶ月分(上限額あり)

自立相談支援センター
☎0285-81-6011

来年2月26日 締切
ひとり親世帯の暮らしをサポート

ひとり親世帯臨時特別給付金
1世帯5万円+第2子以降1人につき3万円

真岡市子ども家庭課
☎0285-83-8131
※令和2年6月分「児童扶養手当」の受給者以外の方は申請が必要

“大学・短大等”に通い続けるのが困難

高等教育の修学支援制度
授業料の減免+給付型奨学金等

各学校または日本学生支援機構
☎0570-666-301

“税金・使用料等”が払えない(猶予・減免・免除等)

市税等	真岡市納税課	☎0285-83-8115
県 税	真岡県税事務所	☎0285-82-2135
国 税	国税徴収センター	☎0120-948-249
市営住宅使用料	真岡市建設課	☎0285-83-8694
上下水道使用料	真岡市水道課	☎0285-83-8166
	真岡市下水道課	☎0285-83-8160
国民年金保険料	宇都宮東年金事務所	☎028-683-3211
	真岡市国保年金課	☎0285-83-8593
国民健康保険税	真岡市国保年金課	☎0285-83-8594
後期高齢者医療保険料	真岡市国保年金課	☎0285-83-8594
介護保険料	真岡市いきいき高齢課	☎0285-83-8094

来年2月28日 締切
インフルエンザ予防接種費の補助(今年度は対象を拡大)

年齢	助成回数	助成額
1歳~小6	2回	各回2,000円以内
中1~64歳	1回	2,000円以内
65歳以上	1回	無料

真岡市健康増進課
☎0285-81-6946

事業者向けの支援策情報

来年1月15日 締切
売上が前年同月比で50%以上減っている

持続化給付金
法人最大200万円(個人最大100万円)

持続化給付金コールセンター
☎0120-279-292

来年1月15日 締切
売上が前年同月比で30%以上50%未満減っている(ただし、個人農業者は前年同月平均比)

真岡市事業継続給付金
農業継続給付金1法人20万円(個人10万円)

真岡市商工観光課
☎0285-83-8135
真岡市農政課
☎0285-83-8139

来年3月31日 締切
売上が前年同月比で3%以上減っている

真岡市緊急対策資金(貸付)
限度額1,000万円

[利 率] 0.8~1.2%
[利子補給] 3年間
[相談(申請)窓口] 市内取扱金融機関
[保 証 料] 全額補助

12月31日 締切
従業員に休業してもらう

雇用調整助成金
1人1日あたり最大1万5千円

ハローワーク真岡
☎0285-82-8655

来年1月15日 締切
地代・家賃等の負担を軽減

家賃支援給付金
法人最大600万円(個人最大300万円)

家賃支援給付コールセンター
☎0120-653-930

12月10日 締切
テレワークや非対面サービス等に取組むなら

小規模事業者持続化補助金
対象経費の2/3~3/4(最大100万円)

補助金事務局
☎03-6747-4600

市内で創業または事業承継した事業者へ(対象:創業から3年未満)

真岡市新製品開発・販路開拓支援補助金
または事業承継支援補助金
新規事業経費の1/2(最大30万円)

真岡市商工観光課
☎0285-83-8134
真岡商工会議所
☎0285-82-3305
にのみや商工会
☎0285-74-0324

紙面の都合上、『Go To トラベル』『Go To イート』『もおか食ベチケ第2弾』などについては中村のホームページに掲載しております。

※各支援策には、細かい条件が設定されている場合があります。まずは、それぞれの担当部署にご相談されることをおすすめします。

コラム ズーむあつぴ

大学生達から教えられたもの ~インターンとの2ヶ月間を終えて~

8~9月の2ヶ月間、大学生達をインターンとして受け入れた。これは、NPO法人ドットジェイビーという団体が主催しているもの。大学生達が、全国の国会・地方議員のもとで社会経験を積み、政治への関心を深めることなどを目的としている。

インターンの受け入れは、私にとって初めての経験だったので、戸惑うことも多かった。しかし、同僚議員や議会事務局、そして市役所各課の職員など、多くの方々にご協力をいただき、学生達との有意義な時間を過ごすことができた。この場を借りて心から感謝を申し上げたい。

さて、大学生達と関わった中で、強く印象に残っているものの1つに『未来国会』がある。これは、受け入れた議員の事務所ごとに発表を行う政策アイデアコンテストで、30年後の国づくりを見据えながら、10年後の政策を考えるという取り組み。その準備のため『お盆期間中も勉強会をやりたい!』と学生達から申し出があり、私も彼らに付き合うこととなった。

当初は『人口減少問題』や『東京一極集中』といった、まさに今、各自治体が最重要課題としているものをメインテーマに据えて議論を始めた彼らだったが、次第に『しっかりこない』という思いを1人1人が抱くようになっていった。

2040年までに全国の約半数の市町村が消滅する恐れがある——だから、若者を地方に定住させようと言うが、何か根本的にズレているのではないのか?

東京一極集中を是正するのに、全国各地に拠点となる『中核中核都市』を選んで、そこで人口の流出を食い止める——では、小規模の自治体は置き去りにしていいのか?

彼らは決して器用ではない。だから、議論をしていても、ボンボンと言葉が出てくる訳ではない。しかし、その中で懸命に絞り出してくる意見を聞いていると、私の方がハッとさせられる場面が多かった。

これまで、我々が議論してきた『地方創生』の取り組みは、どこか卑屈な要素を抱え込んでこなかっただろうか。

若い世代が移り住むには、まず自治体自らが誇りを取り戻すこと——。

私達が常日頃『定住してほしい』と願っている層と同世代の彼らが、純粋な気持ちで突き付けてきたテーマは非常に重い。

大学生達を受け入れた当初は『彼らの学びのお手伝いができれば...』と、どこか上から目線で考えていた私だった。しかし、今振り返ってみると、彼らから教わることの方が多かった2ヶ月間だったと改めて思うのである。

中村かずひと活動日誌

7月	
6日	あいさつボランティア臨時議会
7日	『ひばりの会』定例会
8日	真岡新聞音読作業(『ひばりの会』の活動として)
9日	グループホーム尊徳運営推進会議
13日	あいさつボランティア
14日	議会だより編集委員会
20日	あいさつボランティア
21日	議員協議会
21日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
22日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
23日	大学生インターンとの面談
25日	『わかば会』奉仕作業
26日	出前講座
27日	あいさつボランティア
27~28日	関東若手市議会議員の会研修会(於:那須塩原市など)
28日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
8月	
3日	とちぎ次世代研究会研修会
4日	『ひばりの会』定例会
5日	協和公民館「高齢者学級」(於:筑西市)
6日	会派『もおか新時代』勉強会
9日	大学生インターン指導日
14日	新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議
15日	大学生インターン指導日
17日	あいさつボランティア
	会派代表者会議
	議会運営委員会
17日	議員協議会
	会派『もおか新時代』勉強会
18日	全国若手市議会議員の会OB会研修会
23日	NPO法人ドットジェイビー「中間報告会」
24日	あいさつボランティア
	9月定例会議会開会
	表彰審査委員会
	会派『もおか新時代』勉強会
31日	あいさつボランティア
	質疑・一般質問
9月	
1日	会派『もおか新時代』ミーティング
3日	民生文教常任委員会(1日目)を傍聴
4日	民生文教常任委員会(2日目)を傍聴
7日	あいさつボランティア
	産業建設常任委員会(1日目)を傍聴
8日	産業建設常任委員会(2日目)を傍聴
9日	総務常任委員会1日目
10日	総務常任委員会2日目
	会派『もおか新時代』ミーティング
11日	決算審査特別委員会通告締め切り
	※その後、市の担当課からヒアリング
	大学生インターン指導日
12日	身体障がい者福祉社会福祉協議会の新庁舎見学会に同行
	大学生インターン指導日
13日	新庁舎竣工記念式典
13日	NPO法人ドットジェイビー主催『未来国会』
15日	会派代表者会議
	議会運営委員会
	議員協議会
	決算審査特別委員会
	議会活性化等検討委員会
17日	9月定例会議会閉会
	議会だより編集委員会
	会派建議要望を市長に提出
	旧庁舎閉庁式
18日	大学生インターン指導日
26日	NPO法人ドットジェイビー「最終報告会」
27日	あいさつボランティア
28日	交通安全指導(高間木の交差点にて)
30日	